

## 稲葉健二のコラム



この議会で25年度の当初予算が審議、可決されました。一般会計1271億円、特別会計825.45億円、公営企業会計29.35億円で合計2125.8億円でスタートします。前年度に比較して4億円のマイナス予算となりました。内容は、一般会計は67億のマイナスですが、特別会計は逆に62.76億円の増となりました。国民健康保険特別会計が17.45億円の増、下水道事業特別会計が32.31億円の増、介護保険特別会計が13億円の増などが目立っています。保険関係の支出増が主なものになっています。本来保険は、加入者から徴収する保険料と国の負担で独立して賄われなければいけないのですが、足りない分を市が負担するというかたちになっています。増えていく医療費に収入が追い付かないということです。国民健康保険への繰り入れは、企業保険や組合健保、共済に加入している方たちにとって、一般財源からの支出は二重に保険を支援することになるわけです。病気やけがで医療にかかることを抑制しようということではありませんが、1割負担の市民の方は9割を、3割負担の市民の方は7割を保険から支出されていることをよく考えていただければありがたいと思います。例えば自転車対策費ですが、25年度の予算では利用者からいただく使用料と自転車対策にかかる費用との差額はマイナス約2億円です。この金額は自転車を利用していない人の税金からも負担していることになるわけです。待機児童が問題とされている保育園、扶助費が大きく増えている生活保護費などにも市税がかなり使われています。今回何をお伝えしたいかということ、市民の方が支払っている使用料や保育料には税金が多く使われています。その負担は、利用者はもちろんですが、利用していない市民の方の税金が使われていることを考えていただければ、お互いに気持ちのいい社会が作れる気がします。行政が支援することは、市民の方たちの税金からです。「当たり前」という意識ではなく「ありがたい」という気持ちでお願いします。

ご意見・ご要望等お気軽にどうぞ！



市川市議会議員

# 稲葉健二の ひと言メッセージ

## 市庁舎建替を考える。

以前の特集でも市庁舎の建替を取り上げました。2月6日に市川市庁舎整備基本構想策定委員会から市庁舎建替に対して答申ができました。建設候補地案は4案が示され検討された。A案は現在の本庁舎及び南分庁舎を建替、更に本八幡A地区再開発事業（商業棟）の一部の床を活用し、3か所に分散する案。B案は現在の本庁舎及び南分庁舎を建替、2か所に分散する案。C案は市川市地方卸売市場の敷地を活用し、1か所に移転する案。D案は市川南の民有地を活用し、1か所に移転する案。この4案の審議結果は、実現性として、A案については既に再開発の商業棟の床取得者が決定し、庁舎としての活用が難しくなった。C案については、現在地で卸売市場の民営化を検討するという方針が示され、この場所に庁舎の整備は難しくなった。D案については、地権者による土壌改良の工事が活用の前提となるが、これに要する期間などを考慮すると、工事を早期に実施することが不確定な状況となった。この結果、新庁舎の建設場所は、事業期間の見通しがつきやすく、早期に実現が可能と判断できる現本庁舎及び現南分庁舎の建替によるB案を推奨するものとした。との答申がだされました。B案は最大可能建築面積約36200㎡、総事業費約208億円、総事業期間約7年（平成25～31年度）のプロジェクトです。市民のためにいかに使い易く、災害時にしっかりと対応できる庁舎になれるように設計され、建設に向けて動き出すことになるわけです。市民の方の意見を十分に届けたいと思います。

No.42

平成25年4月10日発行  
稲葉健二事務所  
272-0021  
市川市八幡2-2-10  
TEL 047-333-1783  
FAX 047-334-1990  
URL [www.inaba-kenji.jp](http://www.inaba-kenji.jp)  
MAIL [kenjiinaba@aol.com](mailto:kenjiinaba@aol.com)



# 平成25年2月定例議会報告

平成25年2月定例議会が、2月18日～3月22日まで開催されました。下記の内容で代表質疑を行い、真摯な御答弁をいただきました。質問の要旨を掲載いたしました。詳しくは、市議会のいちかわインターネット放送局で録画放送をご覧いただけます。市川市議会→録画放送→2月27日へとお進み下さい。直接は<http://ibs.city.ichikawa.chiba.jp/ibswb/topPage.do?id=2038>です。

## 代表質疑の主な内容は、

### ○施政方針について

「未来の市川を担う子どもを社会全体で支えることについて」

ア. 社会全体で支える具体的な考え、手法はどのようなものか

イ. 子育て環境の充実の施策、安全確保の具体的な取り組みはどのようなものか

ウ. 市川市独自の取り組みや考え方で進める方向性はあるのか

「クリーンセンターの延命化、本八幡駅北口A地区市街地再開発事業について」

ア. 延命化の完遂とごみの発生抑制について

イ. 本八幡駅北口A地区市街地再開発事業の進捗状況は。また、この事業は市川市にどのような効果をもたらすものなのか

「簡易保育園について」

・保護者の経済的負担の軽減、園運営費の補助をどのように考えていくのか

「子どもの教育環境について」

ア. 悩みや諸問題を具体的に対応していく流れはどのようにしていくのか

イ. 通学路の安全への取り組みの手法はどのようなものか

ウ. 学校支援実践講座事業①事業の具体的な内容②対象者と事業の目当て

「高齢者の応援について」

・地域や社会全体で応援していく具体的な形は。また、高齢者の年代別の対応をどのように考えるのか

「稲荷木幼稚園廃園後の施設について」

ア. 廃園後の具体的な施設利用の考え方はどのようなものか

イ. 発達障害児の支援センターの基本的な考え方は

ウ. こども発達相談室事業①相談事業について②保育園・幼稚園等への訪問支援事業について③賃金について

「ガーデニング・シティいちかわについて」

ア. 「ガーデニング・シティいちかわ」が生み出す事業効果により期待される市川市の魅力はどのようなものなのか。また、市民をどのように参画させていく考えなのか

イ. 「健康都市いちかわ」の中でどのように進めていく考えなのか

「スマートフォンを活用した施策について」

ア. 生活情報や災害時の情報を相互発信できるシステムの具体的な内容は

イ. 考えている方向性はどのようなものか

ウ. 行政間の広域的な連携に求めていくものは何か

「市内経済活動支援について」

ア. 販売促進活動やイベントに対する補助の具体的な手法、考え方は

イ. 商店会を活気あるものにするための具体的な支援策は

ウ. 経済団体等との連携はどのように進め、市のポジションや

応援のスタイルはどのように進めていく考えなのか

「地域ブランドのについて」

ア. 市の魅力を市内・市外にどのように発信していくのか

イ. 発信の拠点や手法の具体的な考え方は

「文学ミュージアムについて」

ア. 文学ミュージアムのコンセプトは

イ. 運営の形態と方向性をどのように考えていくのか。また、他の市内文化施設などとの

連携はどのようにしていくのか



代表質疑とは、毎年2月議会に市長の次年度の施政方針や当初予算や一部の議案に対して会派別に代表者が質疑をすることです。今年は私が担当をさせていただきました。

市長のご答弁のあと、担当の部長から詳細なご答弁をいただくことになります。施政方針は市政全般や主な施策、事業、方向性をまとめたものです。市川市がどのように進んでいくのか、かたちが見えるものです。その中で、限られた時間内で聞くことができるように項目を絞って質疑をします。どの項目も市民の生活に関わる大切なことです。市民の目線に立ち、どのように聞いたら良いかを考えて質疑をします。

ここには質疑の通告項目を掲載させていただきました。ご答弁の要旨を載せるにはスペース的に無理があるので、ご興味がある方は私の方にお問い合わせいただければお答え致します。また、この代表質疑の部分だけは、市川ケーブルテレビでノーカットで放映をしたのでご覧になられた方もいらっしゃるかと思います。

市民の皆さんが市政に関心を持ったり、疑問を持ったりすることを市や私たち議員に投げかけ、回答や意見を求めることが大切だと感じています。